



歩路だより



室内の遊びが増え、少し遊び足りない様子の子どもたち。室内だからこそ、冬のこの季節だからこそ楽しめることを見つけながら、遊びを盛り上げていきたいと思います。又、寒さや乾燥が気になる時期になりました。風邪やインフルエンザに負けず、予防に気を配りながら元気に過ごしたいと思います。

2がつのよてい

げつ	か	すい	もく	きん
1 うんどうあそび	2 かだいたそび	3 せつぶん(せいさく)	4 おえかき	5 おんがくあそび
8 おえかき	9 うんどうあそび	 ひなんくんれん	11 けんこくきねんのひ	12 かだいたそび
15 おんがくあそび	16 せいかつあそび	17 ごうどうほごしゃかい	18 かだいたそび	19 おえかき
22 せいかつあそび	23 おんがくあそび	24 おえかき	25 うんどうあそび	26 かだいたそび
29 くらすこうりゅう				

※活動内容は、諸事情により変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

《臨床発達心理士》松本先生：2月1日、3日、5日、9日、10日、15日、17日、18日、23日、24日、25日、29日

《言語聴覚士(ST)》二宮先生：2日、8日、17日、26日

《理学療法士(PT)》福山先生：1日、19日、23日、29日

おねがい

- お子さんの持ち物には、衣類・オムツ等も含めすべてに記名をお願いします。
- 名前のないものに関しては、こちらで記名させていただきますので、よろしくお願いします。
- 書類や薬をお子さんの鞆の中に入れる際は、お手数ですが連絡帳にその旨の記載をお願いします。
- 寒いので、ジャンパー、靴下等を持たせてくださいますようお願いいたします。





職員通信 今月の担当は、長野 玲子です。



今年は暖冬といいますが、まだまだ寒い日が続いております。あと2ヵ月ほどで新年度になり保護者の皆様におかれましてはお忙しい時期になってくると思います。また、子どもたちもそわそわしてくる時期ではないでしょうか。

さて時間が経つのは早いもので、私が5月からポロで働かせていただいて9ヵ月が経ちました。最初の頃と比べると、身長もですが内面的にも子どもたちの成長を多く感じます。自分から伝えようとする姿や友だち同士でのやりとりの姿からさまざまな変化があり、うれしさを覚えつつ今後の成長する姿と一緒に寄り添っていきたいと思っています。そして、毎朝の登園時には「おはよう」と声を掛けながら子どもたちの「おはよう」の声で「今日も元気だな」などと確かめながら、私自身も子どもたちから元気をたくさんもらっています。

今年度も残りわずかということで、少し寂しさ感じる時期ではありますが、一日一日を子どもたちと笑顔で過ごしていけたらなと思います。



専門職通信 今月の担当は、言語聴覚士 二宮 佳美先生です



ことばの発達を促す工夫「刺激を調整する」

今回、私が皆様にお伝えしたいテーマは「刺激を調整する」です。

まず、ここで用いる「刺激」とは、子供があらゆる感覚から感じ取る情報の事です。例えば、子どもに提示することばを、言語刺激と言います。

子どものことばの発達を促す為には、「子どもが同じ物に注意を向けているか」その為に、「いかに刺激を調整しているか」がとても重要に思われます。

○言語聴覚療法で行う刺激の調整は環境面の刺激として、

- ① 静かである
- ② 物や人等、気がそれる物がないように工夫する

○コミュニケーションの話題としての刺激(物や絵カード等の訓練課題)として、

- ③ 机の上などに、提示した物に限定できる
- ④ 一人一人の子どもの発達段階に合わせた刺激(ことば、絵カード、物、語彙数)である
- ⑤ 一人一人の子どもの意欲や興味に合わせて刺激(課題)を提示する

等があります。

ご家庭においても、ことばに関する事で、うまくいかないと思う時、刺激が適切であるか確認するのも一つの大事な方法です。そして、子どもと同じ物を見ているか、同じ事を思いながらやり取り出来ているか、子どもが意欲・興味を持っているか、伝わっているか、実は他の事が気になって考えているのではないかなど、刺激が子どもにとって受け取りやすい状態であるか配慮する事は、ことばを促す工夫になると思います。

ことばの発達について質問・相談等ありましたら、お知らせくださいませ。

